

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要と 高津中学校における今後の取組について

清秋の候、保護者の皆様にはますますご清祥のことと拝察いたします。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本校におきましては、学校教育目標を実現するため、

- | |
|------------------------------------|
| ① 確かな学力、生きる力の育成
② 豊かなこころ（心身）の醸成 |
|------------------------------------|

の2点を重点目標として、日々の教育活動に取り組んでおります。

このたび、5月27日（木）に3年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の調査結果から見えてくる本校がめざす教育活動の成果と課題の一部をお知らせし、今後も保護者・地域の方々と共に本校の教育活動をより進めていくことができると考え、この報告書を作成いたしました。

なお、本調査によって測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることが調査の実施要領にも示されております。本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えいただきたいと存じます。

1. 調査結果の概要

（※数値％は「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」の合計数値です。また、（ ）内の数値は全国平均の数値を表します。）

（1）教科の調査（○は概ね満足できる状況と考えられる内容、●は改善を必要とする状況と考えられる内容です。）

① 国語

*全国結果を50とし、それに対する本校の結果を表しています。

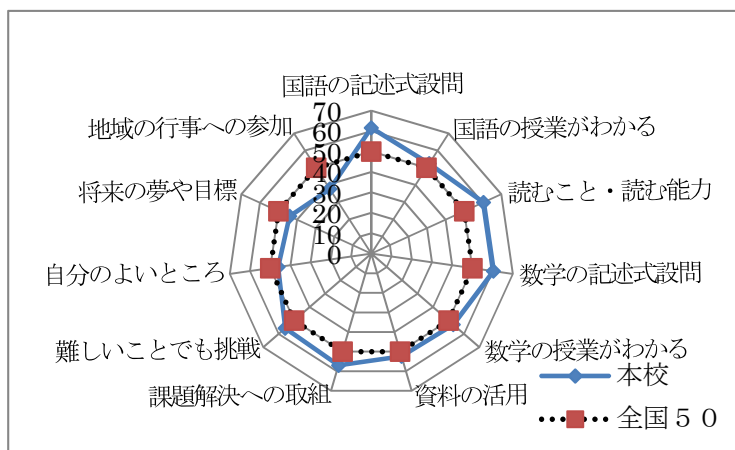
【一昨年度の目標】

各領域で全国の平均正答率を上回ることをめざすとともに、特に対話型の授業を促進することで、記述式問題の正答率を全国平均より10ポイント上回ることをめざします。

【現状と課題】

- 「読むこと」「読む能力」に関する問題の平均正答率は共に58.9%(48.5%)で全国よりも10.4ポイント上回っております。
- 「国語の授業の内容はよく分かりますか」という質問に対しては82.5%(80.1%)の生徒が肯定的な回答をしており、授業に意欲的に参加している様子が見られます。

- 記述式問題の平均正答率は67.6%(56.0%)で全国よりも11.6ポイント上回っています。「全国平均正答率より10ポイント上回る」という目標を達成することはできましたが、話す・聞く力をさらに伸ばしていくと共に、読み解く力や自らの考えを深めていく力を身につけていく必要があると捉えています。



② 数学

【一昨年度の目標】

国語と同様に、説明する問題の正答率を全国平均より10ポイント上回ることをめざすとともに、日常とのつながりを意識した授業を心がけ、数学に関する関心等の数値を5ポイント程度向上することをめざします。

【現状と課題】

- 「資料の活用」に関する問題の平均正答率は56.2%（53.8%）でした。今後も授業の工夫を行いながら、より知識・理解の定着を図っていきたくと考えています。
- 「数学の授業の内容はよく分かりますか」という質問に対しては77.7%（74.6%）の生徒が肯定的な回答をしております。
- 「数学の勉強は大切だと思いますか」という質問に対しては84.3%（84.1%）の生徒が肯定的な回答をしております。一昨年度からは5.4ポイントの向上が見られ、「数学に関する関心の数値を5ポイント向上する」という目標を達成することができました。
- 記述式問題の平均正答率は45.4%(35.0%)であり、全国平均よりも10.4ポイント上回り、目標を達成することができましたが、さらに正答率が向上するよう取り組む必要があると捉えています。

- 2教科ともに知識・理解の部分で良好な状況が見られます。「国語への関心に関する質問」について肯定的に回答した生徒は 82.0%(72.9%)、「数学への関心に関する質問」について肯定的に回答した生徒は 79.5%(77.4%)となっており、数学、国語とも全国平均を上回っておりますが、数学については一層良好な結果が得られるよう努めてまいります。
- 各教科の記述式問題に対する平均正答率は、「全国の平均正答率より 10 ポイント上回る」という目標は達成することができましたが、改善の余地が見られます。普段の授業のなかで生徒同士が意見を述べ合う授業などを効果的にとり入れ、考えを深める力の向上に努めていきたいと考えています。

(2) 学習・生活習慣や意識等に関する調査

【一昨年度の目標】

学校行事や体験活動、キャリア在り方生き方教育等の一層の充実を図ることで、「将来の夢や目標をもつ生徒」「難しいことでも失敗を恐れず挑戦する生徒」の割合がいずれも 5 ポイント程度向上することをめざします。また、ご家庭の協力を得ながら、家庭学習の習慣化を図ることもめざします。

【現状と課題】

- 「難しいことでも失敗を恐れず挑戦している」と回答した生徒の割合は 71.7% (65.9%) となっており、「一昨年度の 75.1%から 5 ポイント上げる」という目標を達成するには及びませんでした。全国平均より 5.8 ポイント上回ることはできました。
- 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分と同じところや違うところを受け止めて自分の考えを伝えられた」「1, 2 年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」の質問で肯定的に回答した生徒の割合はそれぞれ 89.2%(83.7%)、89.5%(81.0%)となっています。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、意見交換の工夫や個々の支援・指導の在り方を大切に行ってきた成果が現れてきたと考えております。今後も生徒が意欲的に伝え合うことができるように、言語活動の充実を継続して取り組んでいきます。
- 「自分にはよいところがある」と回答した生徒は 72.3% (76.2%) であり、改善を必要とする状況であると捉えております。キャリア在り方生き方教育等の充実を図り、改めて教育活動を見直し、自分自身を見つめる機会や成長を実感できる体験活動を計画的に取り組んでいきます。
- 「将来の夢や目標をもっている」という質問に対して肯定的な回答をした生徒の割合は 62.6%(68.6%)となっており、一昨年度の 72.0%から大幅な減少が見られました。
- 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した生徒の割合は 31.3% (43.7%) にとどまり、課題として捉えております。「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」と回答した生徒の割合も 32.5% (43.8%) となり、コロナ禍の影響もあると思いますが、地域への帰属意識をもっと育てていきたいと考えています。
- 自尊感情については少しずつ育っておりますが、まだ夢や目標を明確にもっているとはいえないと考えております。また、長く続くコロナ禍も、少なからず不安を助長し、希望を見出すことに影響を与えたものと考えておりますが、今後も地域と連携し、キャリア教育の充実を図ると共に、自分の在り方生き方をより深く考察し、夢をもって社会に貢献できる生徒の育成に努めてまいりたいと考えております。
- 学校生活の中で、話し合ったり意見交換をしたりしながら、より深く学ぶ活動が行われている様子がうかがえます。学校が、新しい学習指導要領にあります「主体的・対話的で深い学び」の場となるよう、授業の工夫を図っていきます。

2. 調査結果をもとにした次年度に向けた取組目標

(1) 教科に関する取組目標

生徒の学びに向かう力をより高め、知識の習得にとどまらず、知識をどのように「思考・判断・表現」に結び付けていくことができるのか追究しながら、各教科で 4 領域の平均正答率が全国に比べてすべて上回る状況をめざします。特に、「主体的・対話的で深い学び」の場の実現に向けて、積極的に授業改善に取り組み、記述式問題において全国平均より 10 ポイント程度上回ることをめざします。

(2) 学習・生活習慣や意識等に関する取組目標

学校行事や体験活動を通して自尊感情を高めるとともに、人権尊重の意識を育みます。また、地域への帰属意識を高めながら、「将来の夢や目標をもつ生徒」の割合を今年度より 5 ポイント程度向上させることをめざします。そのために、職業体験など様々な活動で地域とのつながりを意識した活動を充実させ、「地域の行事への参加」に関する質問において全国平均と同程度になることをめざします。

教育委員会から

高津中学校では、「学ぶ意欲を育て生きる力を伸ばす」を学校運営の重点目標の一つとして、日々の学習指導に取り組んでいます。学校訪問での授業見学では、ICT を活用しながら生徒の関心を高める工夫をしながら授業を展開する様子が見られました。また、生徒会活動や学年・学級活動の活性化にも力を入れており、今回の「意識等に関する調査」の結果に成果として表れています。

【高津区・教育担当】